

アドバンス・テクノロジー・セミナー

# スマートモビリティが変える 未来の暮らし

超小型モビリティ導入促進事業から未来のまちづくりを考える

主催:熊本県・さいたま市・宮古島市・本田技研工業株式会社・株式会社本田技術研究所

2015年11月4日 13:00-16:30  
東京ビッグサイト 会議棟 607/608 会議室

3自治体とHondaが進めてきた超小型モビリティ導入促進事業を通じて得られた知見と、見えてきた課題から、未来のまちづくりの方向性を紹介する。3自治体の首長と有識者、メーカーを交えて地域のニーズ、あるべき暮らしを議論することにより、未来のスマートモビリティやまちについて考える場とする。

|     |             |  |
|-----|-------------|--|
| 第1部 | 13:00-13:10 | <b>開会の挨拶</b><br>本田技研工業株式会社 取締役専務執行役員 福尾幸一氏<br>株式会社 本田技術研究所 代表取締役 社長執行役員  |
|     | 13:10-13:40 | <b>基調講演 超小型モビリティ導入促進事業から得られた成果と可能性</b><br>国土交通省自動車局 環境政策課長 西本俊幸氏   |
|     | 13:40-14:50 | <b>3自治体による超小型モビリティ社会実証実験の成果報告</b><br>熊本県商工観光労働部新産業振興局 産業支援課長 古森美津代氏<br>さいたま市環境局環境共生部 環境未来都市推進課長 高橋伸一郎氏<br>宮古島市企画政策部長 兼 振興開発プロジェクト局長 友利克氏   |
| 第2部 | 15:10-16:30 | <b>パネルディスカッション スマートモビリティが変える未来の暮らし</b><br>筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授 石田東生氏(モデレーター)<br>熊本県副知事 小野泰輔氏<br>さいたま市長 清水勇人氏<br>宮古島市 副市長 長濱政治氏<br>本田技研工業株式会社 取締役専務執行役員 福尾幸一氏<br>株式会社 本田技術研究所 代表取締役 社長執行役員 |

「東京モーターショー」内の「SMART MOBILITY CITY 2015」にて、  
2015年10月28日～11月8日に試乗及び展示を行う予定です。

熊本県・さいたま市・宮古島市とHondaは、2013年から続けてきた超小型モビリティ(電気自動車)「MC-β」実証実験の締めくくりとして、「未来を担う子どもたちが、電気自動車を見て、触れて、それをきっかけに地球環境について考える機会を作ろう」と、共同実験のパートナーである阿蘇市立坂梨小学校(熊本県)、さいたま市立太田小学校、宮古島市立下地小学校で「MC-βこどもぬり絵デザインコンテスト」を開催。各校の最優秀デザインでカラーリングしたMC-βを、実際に製作しました。



# 熊本県・さいたま市・宮古島市とHondaは、国土交通省の超小型モビリティ導入促進事業を活用し「MC-β」による実証実験に取り組んでいます。

超小型モビリティとは、地域の移動の足となる二人乗り車両で自動車よりもコンパクトかつ、エネルギー消費量は通常の自動車に比べ1/6。環境にも人にもやさしい次世代モビリティとして注目されています。「MC-β」は、まちづくりに力を入れている熊本県、さいたま市、宮古島市で社会実験中。都心や郊外での気軽な足として活用、走行に必要なエネルギーの地産地消システムの一環を担い、様々な可能性の検証を実施しています。

## 熊本県

### 新しい交通手段 「MC-β」で 地方をもっと元気に!

近年、地方の過疎化が問題になっています。その問題解決の一環として、次世代モビリティ「MC-β」の導入による地方活性化の検証を実施。住民や観光客にレンタカーとして貸し出し、低コストで、利便性にすぐれる交通手段として地方に貢献し、クリーンな社会を実現する可能性を検証しています。



☎096-333-2318[小型電動モビリティ導入促進協議会事務局(熊本県商工観光労働部新産業振興局産業支援課)]

## さいたま市

### これからの 都心部の暮らしを 「MC-β」から考えていく。

さいたま市では、街乗りにも便利な超小型サイズの「MC-β」による都心部での活用法と市場創造を検証。保育園や商業施設での試乗会や都心部でのワンウェイ型カーシェアリングなどを行い、高齢者や子育ての移動を支援する新しい交通システムを開発。都心部における次世代モビリティの可能性を様々な角度から検証しています。



☎048-829-1457[小型電動モビリティ利活用推進協議会事務局(さいたま市環境未来都市推進課)]

## 宮古島市

### エネルギーも地産地消!? 走った分は、 太陽光で発電。

環境モデル都市として、様々な環境に配慮した取り組みを行い、自給自足のエネルギー供給を目指しています。その取り組みの一環として、交通手段としての「MC-β」の利用と株式会社東芝と連携した太陽光発電による再生可能エネルギーの利用実験を実施。自分たちでエネルギーを創り、蓄え、利用する、エネルギーの地産地消の将来性について検証しています。



☎0980-72-3751[小型電動モビリティ等の活用に係る社会実験プロジェクト推進協議会事務局(エコアイランド推進課)]

# MC-β

エム シー ベータ



### らくらく小回り。

圧倒的に小さい回転半径。驚くほど小回りで狭い路地の曲がり角もらくらく。



### 街乗り超小型サイズ。

全長は軽自動車よりもさらに車体が短いため、細い道もスイスイ運転可能。



### 超小型にもMM思想<sup>\*</sup>。

人のためのスペースは広く、メカ系統は小さく、小型でも快適空間。

<sup>\*</sup>マンマキシマム・メカミニマム



|               |                       |          |                            |
|---------------|-----------------------|----------|----------------------------|
| 乗車定員          | 2名                    | バッテリー    | リチウムイオンバッテリー               |
| サイズ(全長×全幅×全高) | 2,495×1,280×1,545(mm) | 最大航続走行距離 | 80km程度                     |
| 最高速度          | 70km/h程度              | 充電時間     | 3時間以下(200V)<br>7時間以下(100V) |
| モーター出力        | 定格6kW/最大11kW          |          |                            |

#### MC-βのサイトはこちら

右記のQRコードを読み取いただくか、下記URLよりアクセスください。  
<http://www.honda.co.jp/mc-beta/>



#### Honda環境Topicsのサイトはこちら

右記のQRコードを読み取いただくか、下記URLよりアクセスください。  
<http://www.honda.co.jp/environment/topics/index.html>

